

春季における釣り中 人身海難発生傾向と対策

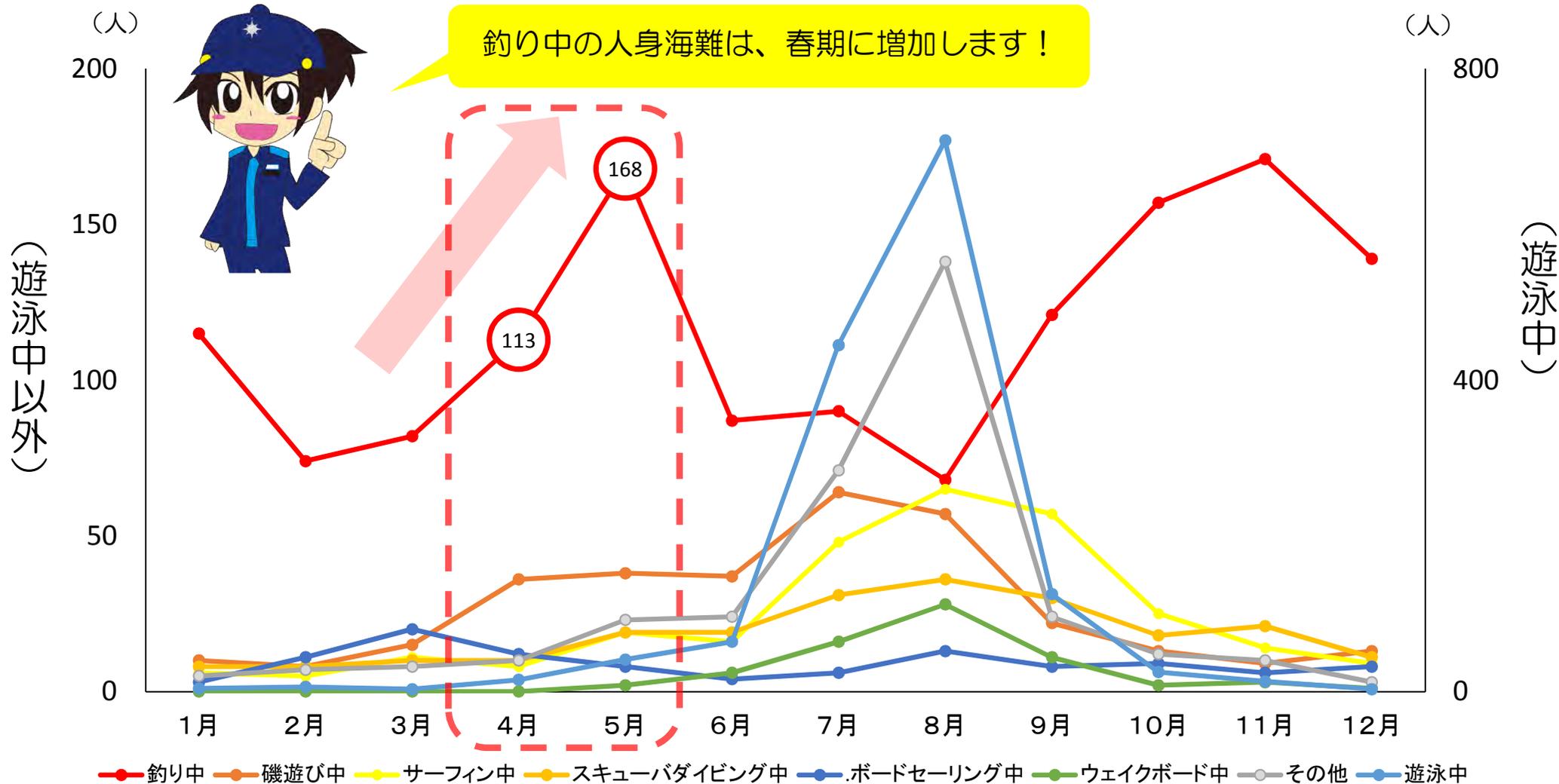
春季には、釣り中の海難が増加します！

海難発生傾向を知って、未然に海難を防ぎましょう！



平成30年4月
交通部安全対策課

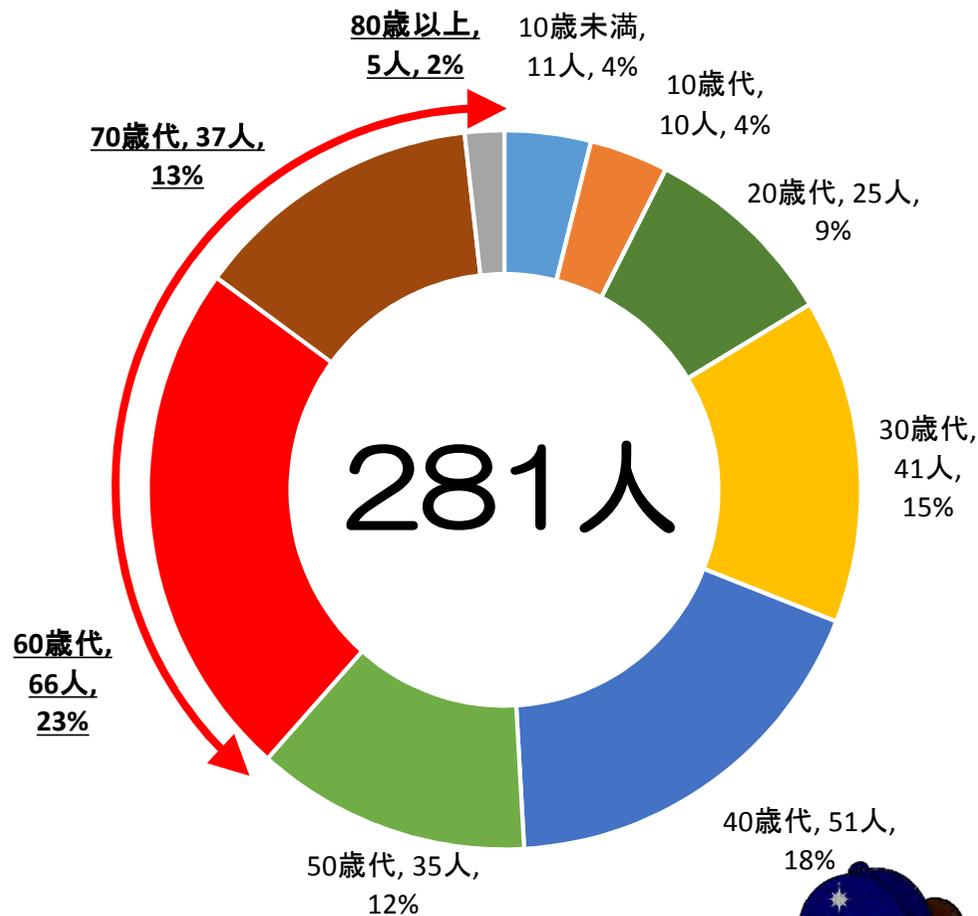
月別 マリナーに伴う人身海難発生状況



➤ 海上保安庁では、GW期間中、マリナーの安全対策を強化しています！

2. 釣り中事故 年代別発生状況 (H25-H29 (4-5月) 累計)

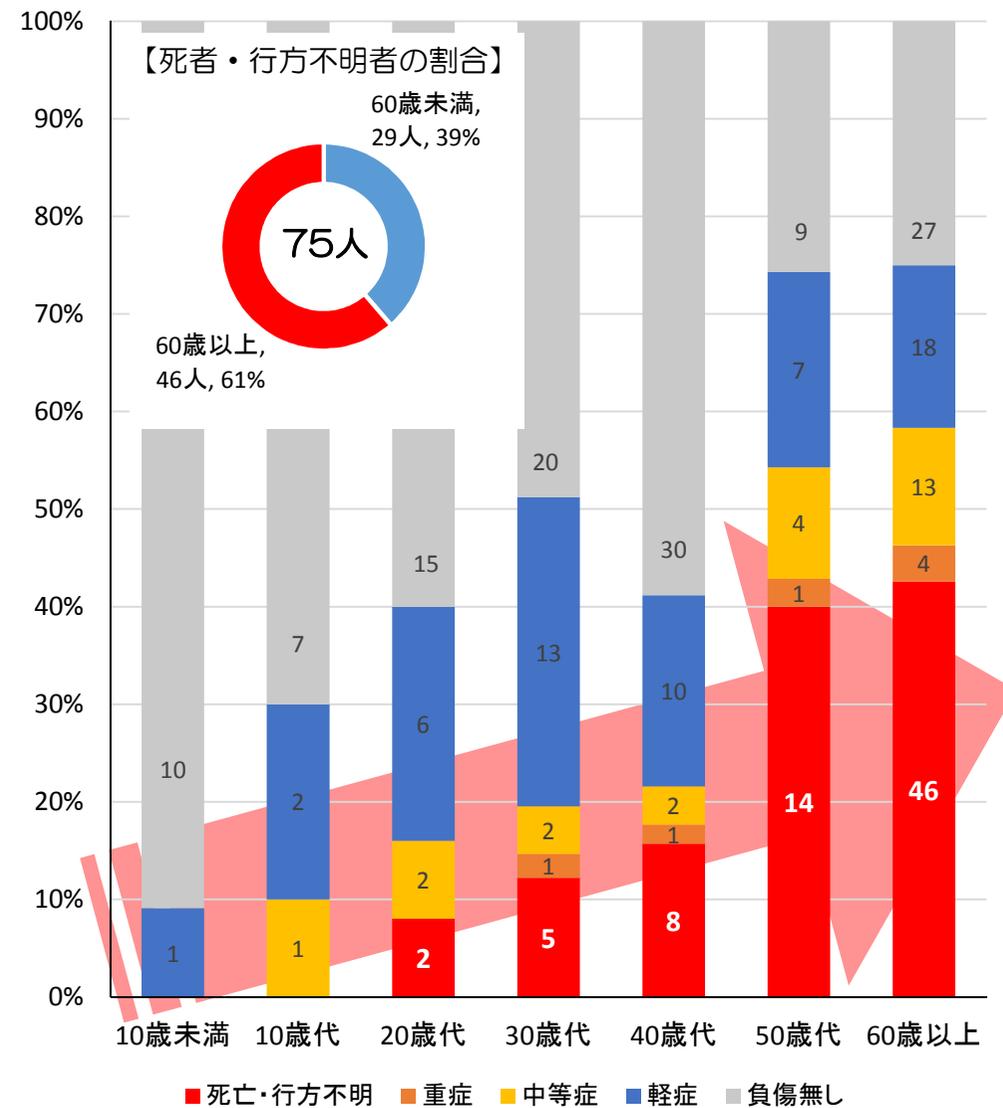
年代別発生状況



約4割が60歳以上です！



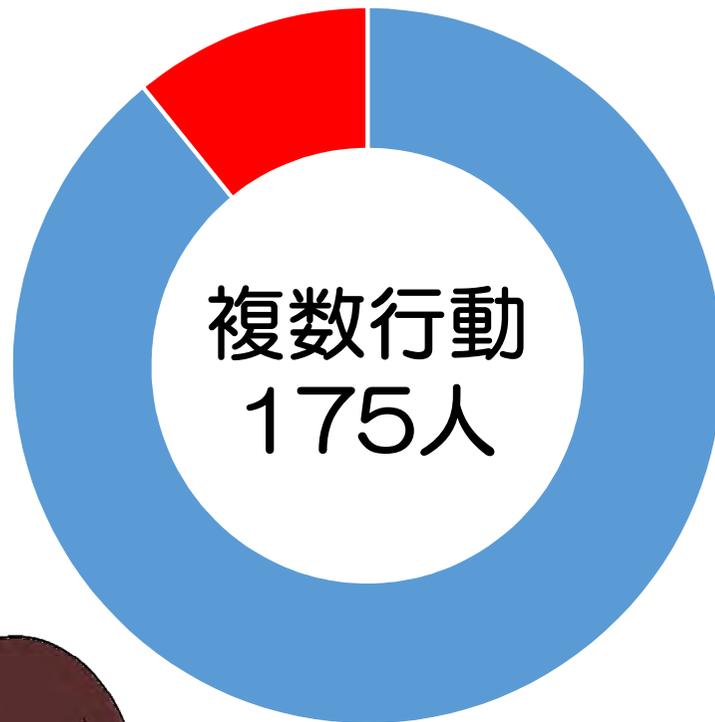
年代・負傷程度別の割合



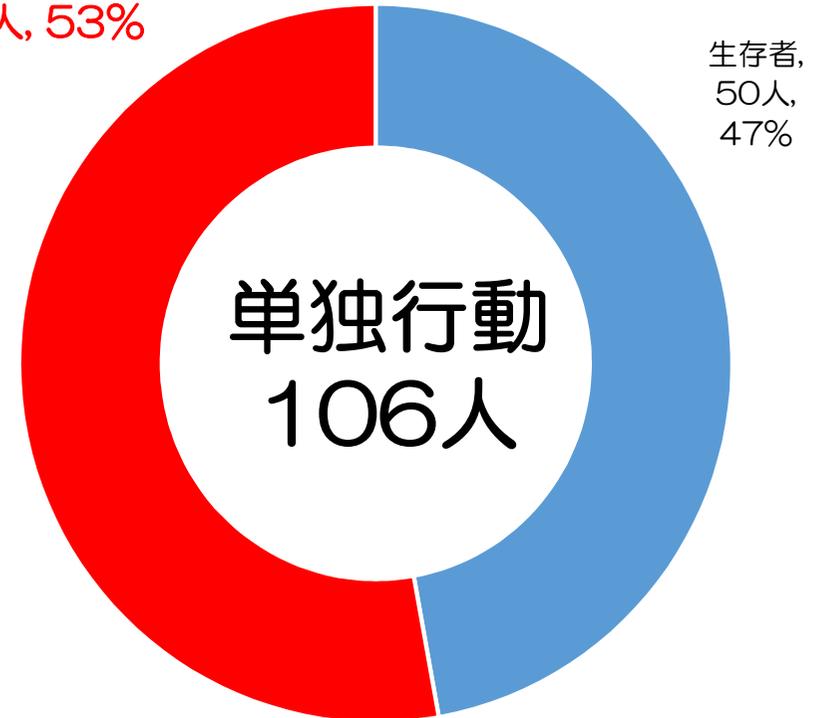
➤ 年齢が上がるほど、**重大な結果**となる人身海難の割合が高くなります！

海中転落事故者の単独・複数行動別の死亡率

死者・行方不明者,
19人, 11%



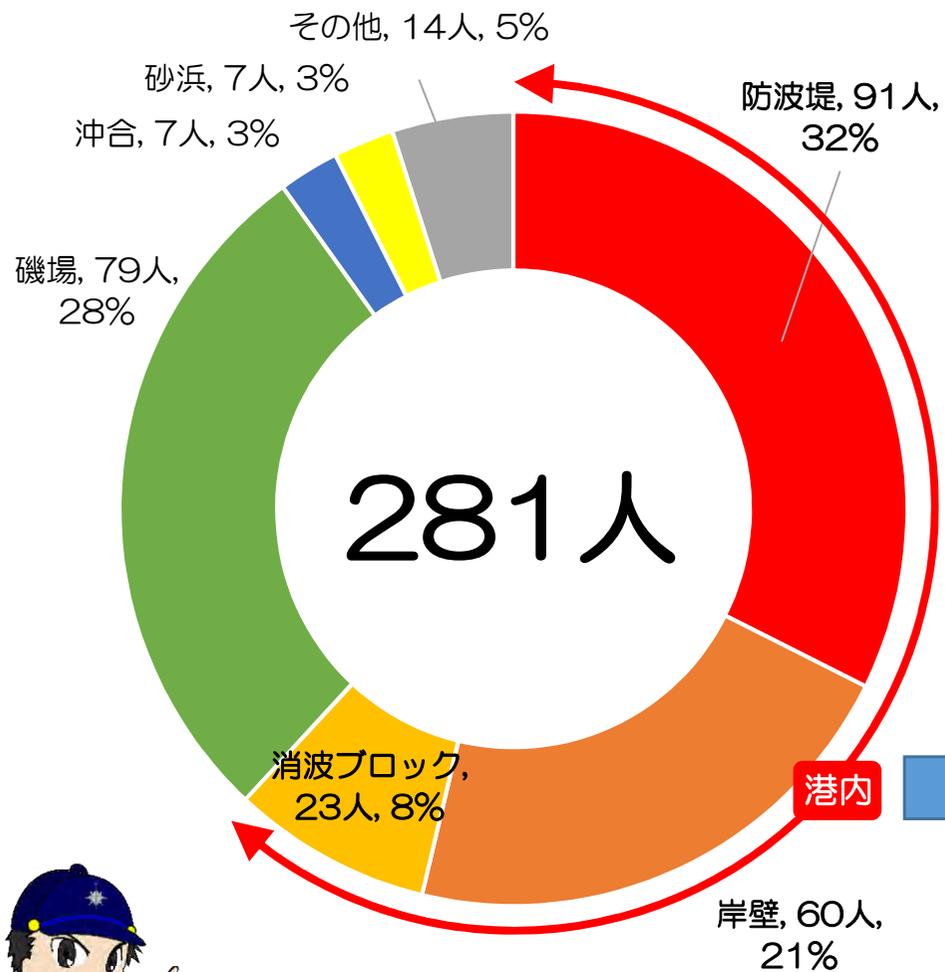
死者・行方不明者,
56人, 53%



複数で行動すれば、救助機関への連絡が早まるなど、助かる可能性が高まります。

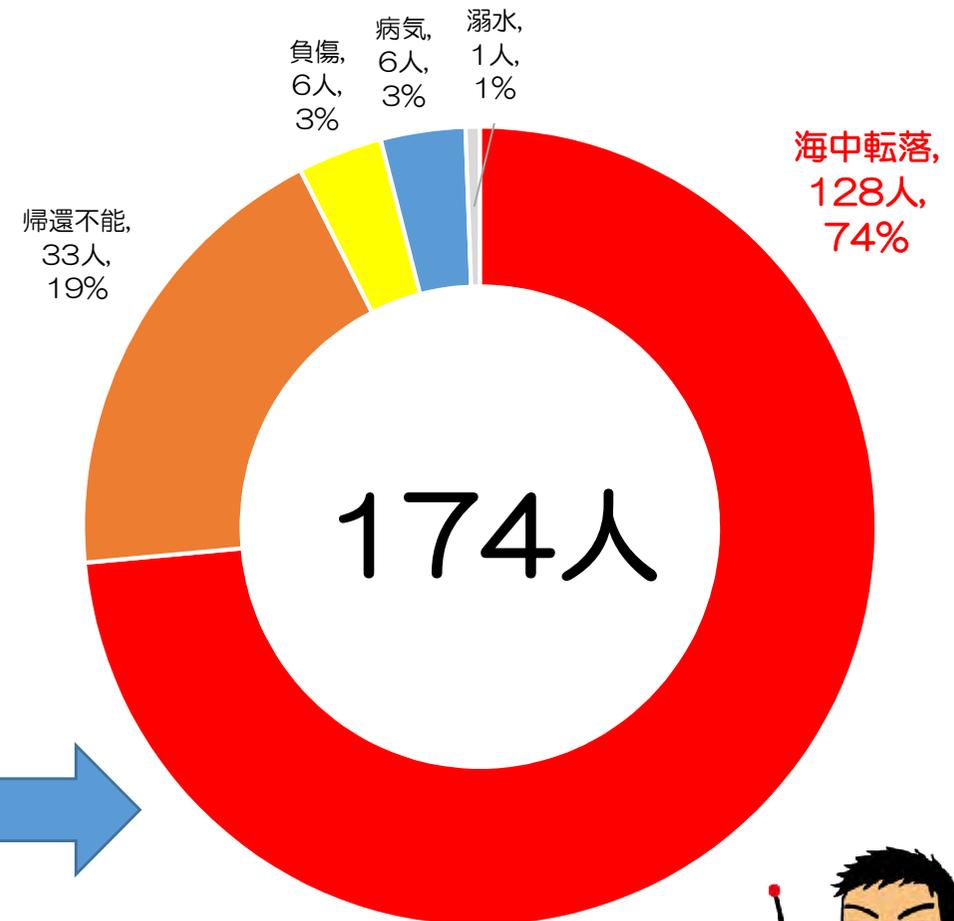
➤ もしものときの安全のため、複数で行動しましょう！

港内における事故内容別発生状況



約6割は港内で発生しています！

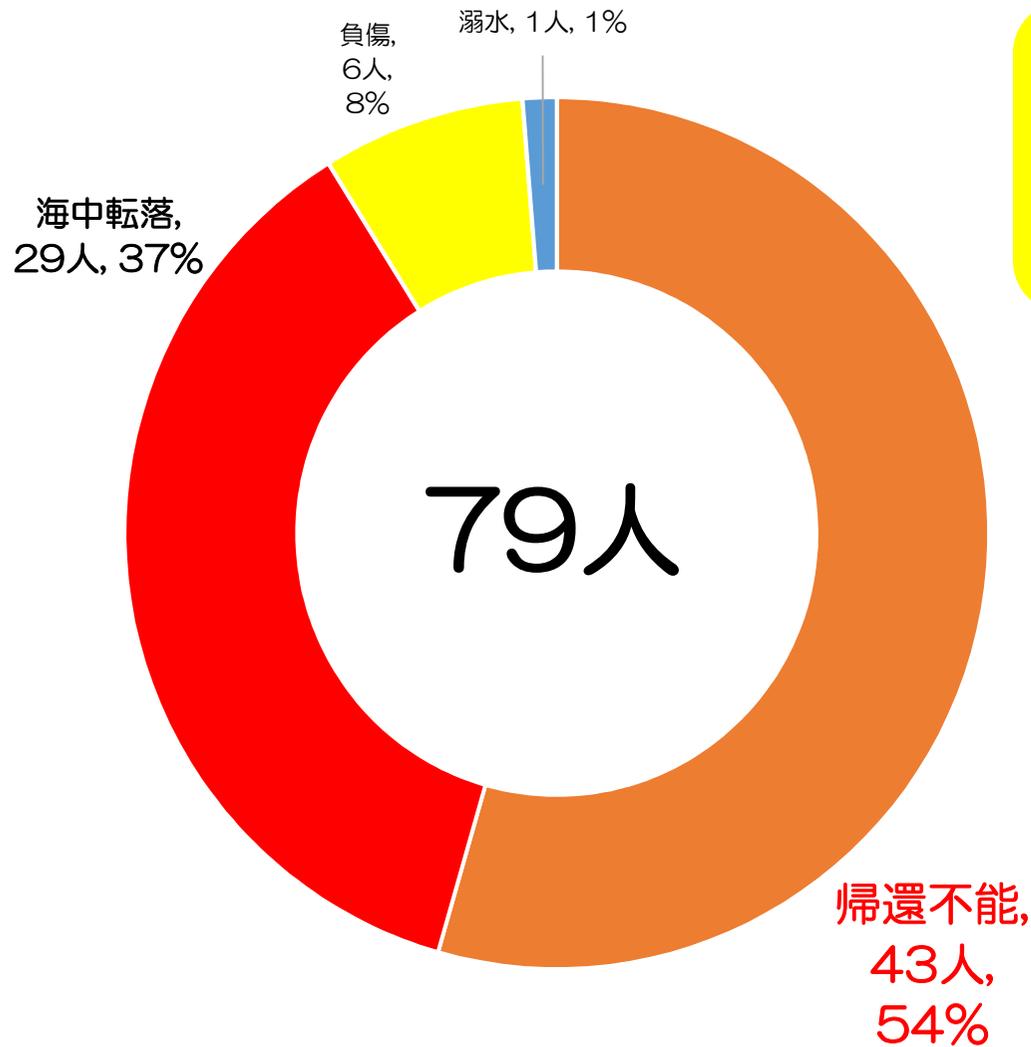
港内における事故内容別発生状況



約7割が海中転落です！

➤ 転倒・足の踏み外しによる海中転落に注意しましょう！

磯場における事故内容別の割合

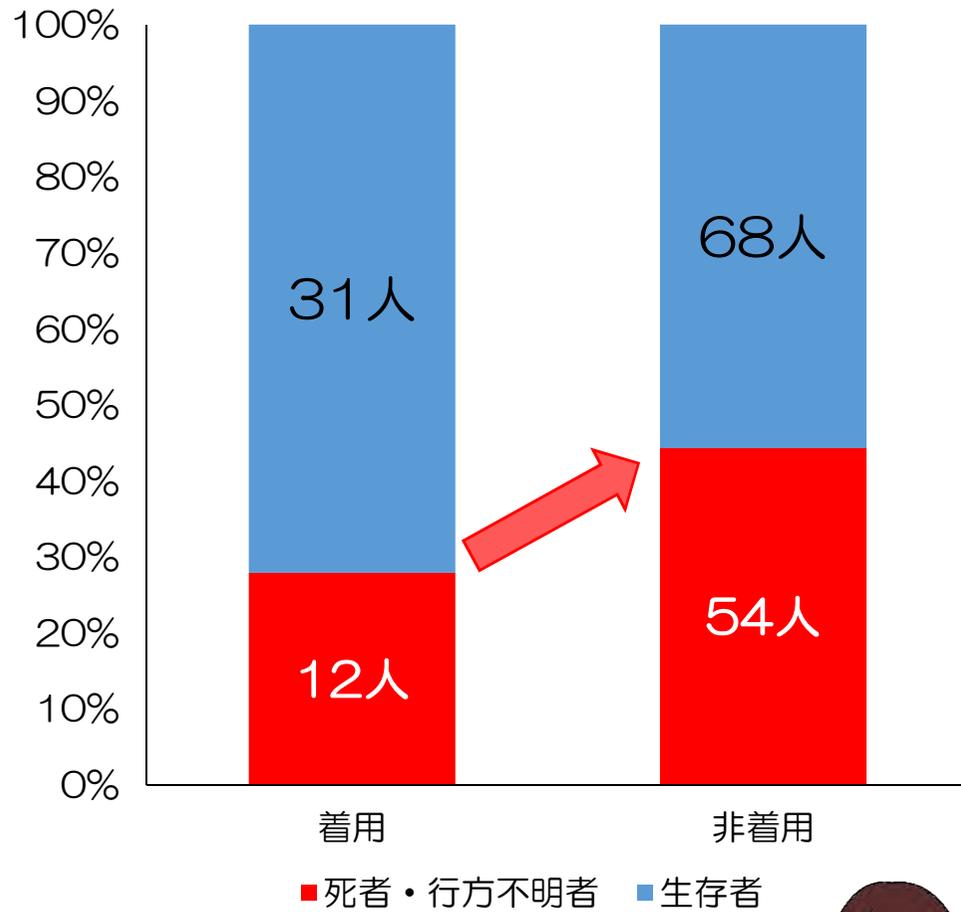


磯場では戻ってこれなくなる事故も多く発生しています！



➤ 磯場での釣りは、安全な場所でおこない、風や波が高くなる前に帰りましょう！

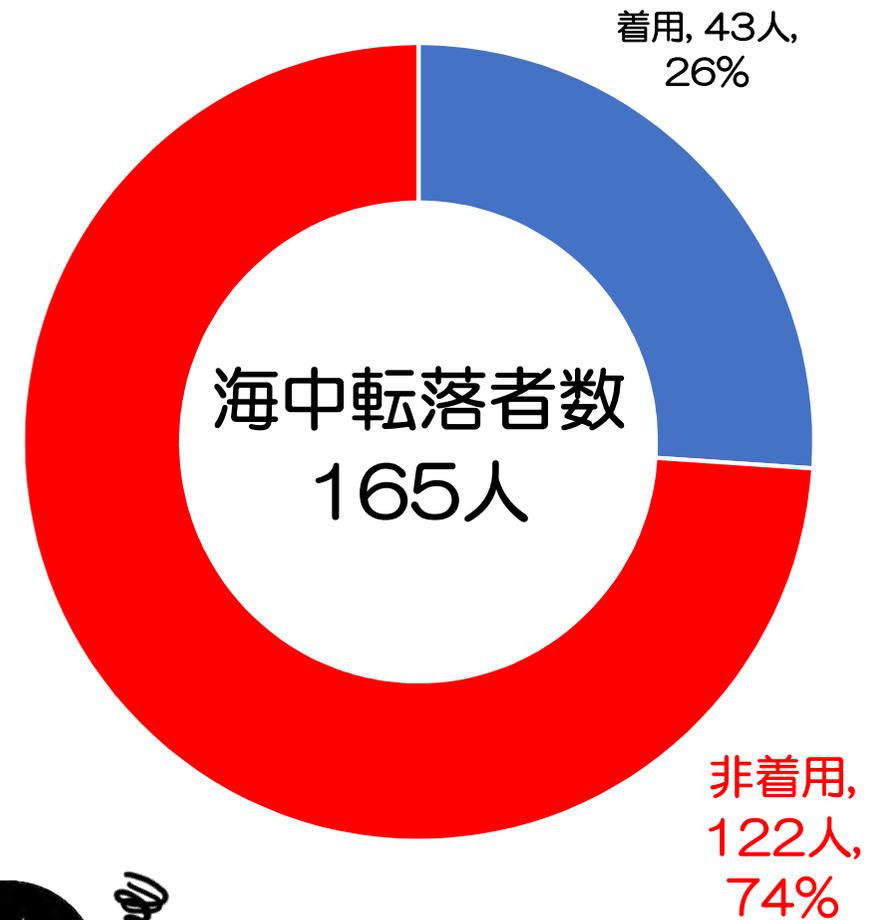
救命胴衣着用有無の死者・行方不明者の割合



死亡率に違いがあります！



海中転落事故時における救命胴衣着用の有無の割合

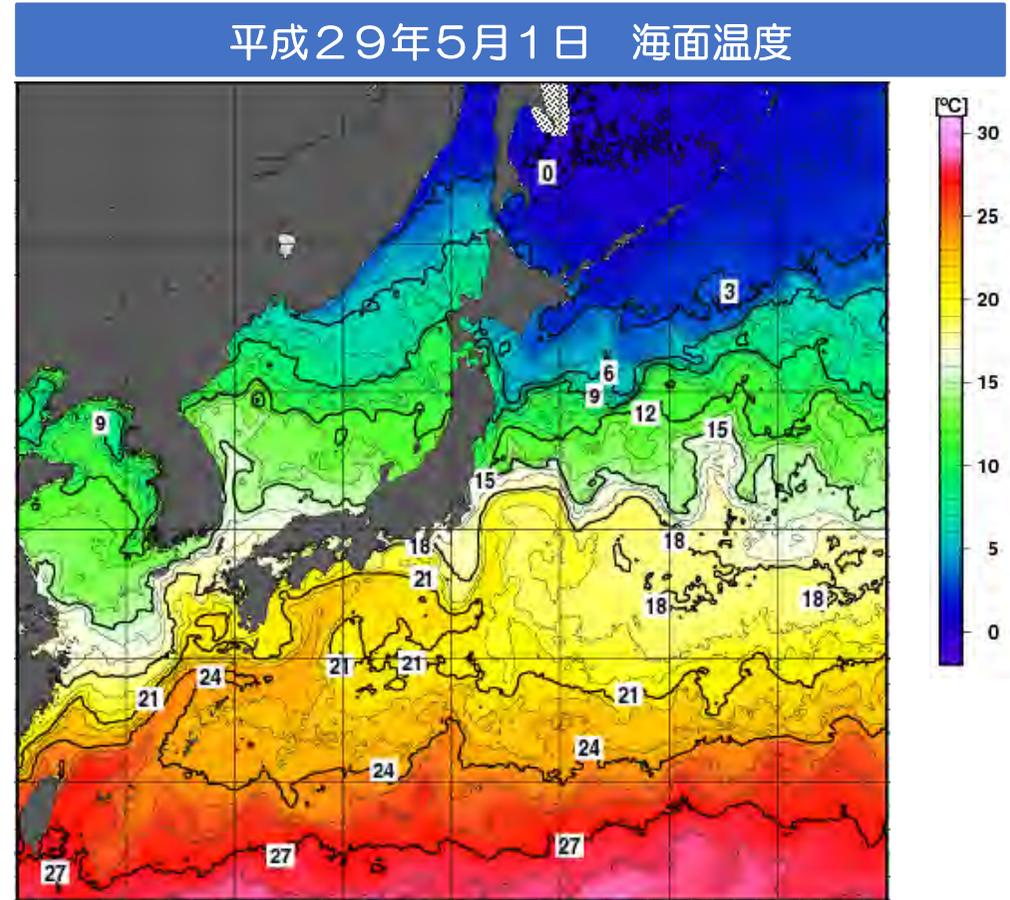


まだまだ、着用率が低い！

➤ 必ず救命胴衣を着用しましょう！

水温	生存予想時間
2℃未満	45分以下
2～4℃	1時間30分以下
4～10℃	3時間以下
10～15℃	6時間以下
15～20℃	12時間以下
20℃以上	不定（疲労度による）

※IMO船舶搜索救助便覧より



上の表は、海水に浸かっている場合の**海水温度と生存可能時間**を表したものです。

温度の低い海水に長く浸かっていると、まず「**低体温症**」になります。低体温症は、体温が35度以下になる状態で、**次第に動作が鈍く緩慢**になり、中度では**意識が混濁**して、正しい応答が得られなくなります。その後は、**意識が無くなり**、重度の非常に危険な状態になります。

春季期間における釣り中事故の傾向分析

- 4～5月に事故が急増
- 年齢が上がるほど、**重大な海難**の割合が高い
- **約6割**が**港内**等で発生
- **単独行動**は**死亡率**が高い
- **港内**では**約7割**、**磯場**でも**約4割**が**海中転落**
- **磯場**における事故のうち、**約5割**が**帰還不能**
- **約7割**が**救命胴衣非着用**

海中転落した場合の対処法（水難学会提唱）

合言葉は…

「浮いて待て！」

大きく息を吸い、空気を肺にためる。
あごを上げて上を見ると呼吸しやすい。

手は水面より下。

靴ははいたまま。
軽い靴は浮き具代わりに。

手足は大の字に広げる。



事故防止のポイント

- **連絡手段**をもって、**複数行動**をしましょう
- **救命胴衣**は常時着用しましょう
- 海の緊急通報 **118番**



沿岸域情報提供システム **海の初心者でもわかる!**

海の安全情報

Maritime Information and Communication System

海の安全情報で提供している様々な情報

- 1 気象現況**
日本全国の灯台等の観測機器で観測した気象情報(風速・風向・波高など)を30分ごとに更新し、提供しています。
- 2 気象警報・注意報等**
気象庁が発する気象警報・注意報等をリアルタイムに提供しています。
● 気象警報
特別警報・気象警報(注意報・気象警報)・暴風警報・大雪警報・濃霧警報・低気圧警報・高気圧警報
● 気象注意報
特別気象注意報・気象注意報(注意報)
- 3 緊急情報**
海上保安庁が発する緊急情報をリアルタイムに提供しています。
● 緊急情報
● 海上保安庁が発する緊急情報
● 出発の遅延、乗客の状況などに関する緊急情報
● 船舶の沈没、航行困難(波、霧)に関する緊急情報
● 船舶の衝突、海上に落下物に関する緊急情報
- 4 海上安全情報**
海上工事・海上作業等による交通規制情報等を提供しています。
- 5 ライブカメラ**
観測機器に接続したウェブカメラの映像を配信しています。

テレホンサービス
ホームページ
電子メール
モバイルサービス
スマートフォン
タブレット

海上保安庁
JAPAN COAST GUARD

スマートフォン用サイト

<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/sp/index.html>

各機能のアイコンをタップすると、自身の所在地が表示され、さらにタップすると詳細な情報が表示されます。

観測機器の位置
観測機器の位置・観測結果を表示します。

気象現況
気象庁のアイコンをタップすると「風速・風向」の観測結果が表示されます。

気象警報・注意報
気象庁のアイコンをタップすると、気象警報・注意報が発表されている地域が表示されます。

緊急情報
海上保安庁のアイコンをタップすると、緊急情報が発表されている地域が表示されます。

海上安全情報
海上保安庁のアイコンをタップすると、海上安全情報が発表されている地域が表示されます。

ライブカメラ
観測機器のアイコンをタップすると、観測機器の映像が表示されます。

スマートフォン用サイト

パソコン用サイト
<http://www.kaiho.mlit.go.jp/info/mics/>

携帯電話用サイト
<http://www.kaiho.mlit.go.jp/mo/mo/index.html>

※スマートフォンでご利用になる場合は、サービスを利用するための適切な設定やアプリのインストール、電子メールの受信設定(迷惑メール 除外)などについては事前の確認をお願いします。

「海の安全情報」とは
全国各地の灯台などで観測した**気象情報**、**海上工事等の情報**や、海上模様が把握できる**ライブカメラ**映像をリアルタイムに提供しています。

スマートフォン用サイトでは、GPS機能を利用して、**現在地周辺**の気象・海象の現況、など海に関する様々な情報が地図画面上で確認できます。

さらに、海上保安庁が発表する**緊急情報**や気象庁発表の**気象警報・注意報**などを、「**緊急情報配信サービス**」として提供しています。

(※「緊急情報配信サービス」の利用には事前登録が必要です。(無料))

緊急情報配信サービス

<https://www7.kaiho.mlit.go.jp/micsmail/reg/touroku.html>

事前に登録されたメールアドレスに、24時間体制で海上保安庁が発する緊急情報や気象庁発表の気象警報・注意報、気象現況等を電子メールで配信するサービスを提供しています。

● 配信する情報：

- 海上保安庁発表の緊急情報
- 気象庁発表の気象警報・注意報等
- 気象現況

メール配信の登録変更・登録解除は、下記メールアドレスに空メールを送信してください。
regist@ap.mics.kaiho.mlit.go.jp

※迷惑メール対策機能をご利用中の方は、ドメイン指定受信設定に「mics.kaiho.mlit.go.jp」を追加して下さい。